

2026年3月27日

各位

本社所在地 東京都港区赤坂三丁目7番13号
会社名 株式会社アエリア
(コード番号 3758)
代表者の役職名 代表取締役社長 小林祐介
お問合せ先 管理本部長 上野哲郎
TEL : 0570-000715 Mail: ir@aeria.jp
URL <https://www.aeria.jp/>

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」の補充原則 4-11③に基づき、取締役会の実効性について評価を行いました。その結果の概要についてお知らせいたします。

1. 実施内容

「質問票」による自己評価を実施しました。社内でそれらを集計し、取締役会では、主に異なる回答と提案について審議をしました。

【対象者】 : 当社取締役（計7名）

【実施時期】 : 2026年3月

【評価項目】 : 取締役会の運営

取締役会の議題と審議	議題
	審議の内容
	審議の数
	審議の時間
取締役会の役割	取締役の役割・責務
取締役会事務局の運営	資料提供時期
取締役会事務局の役割	事務局の求められる姿

2. 評価結果の概要

本年度のテーマは、取締役会の運営であります。取締役会の運営については、概ね、現状のままで良いとの評価でありましたが、充実をした方が良いとの意見もありました。

充実をすべき項目については、課題を認識及び共有をしました。引き続き、取締役会において審議を続けてまいります。

(1) 回答の内容につきましては、以下の通りとなります。

【取締役会の議題と審議】 1名の方以外は、現行のままで良いと回答をしました。

現行のままで良いとする理由は、以下の通りとなります。

- ・各取締役が十分に議案に目を通して検討ができる量のため、今のままで良い。
- ・経営会議で十分な議論を行っているため、今のままで良い。

充実が必要と回答をした方は、以下の通りとなります。

- ・経営課題の提示と対応策の審議を充実させるべきである。
- ・十分な審議のため、審議の時間を長く取るべきである。

【取締役会の役割】 CG基本原則4に基づき、企業戦略・リスクテイクの環境整備・監督機能の中で優先的に重要視すべき責務があるかどうかについて質問をしましたところ、全員が企業戦略を重要視すると回答しました。企業戦略については、決算説明資料（HPで年に2回開示）の中で

説明をしています。

企業戦略を検討する場合に重視すべき具体的な点について、2名の方が以下の回答をしました。

- ・資本コストによる収益性管理
- ・事業ポートフォリオの見直し

【取締役会の運営】1名の方を除いて、資料の提供は今のままで良いとの回答をしました。

1名の方が、資料以外に、審議のための情報を得たいと回答をしましたが、資料以外に情報を得たい場合、会社に確認をすれば情報を得る事ができるとの事でした。

【取締役会事務局の役割】全員の方が、今のままで十分に機能しているため今のままで良いと回答をしました。

- (2) 取締役会では、主に、意見が分かれる回答と提案について、課題の共有をはかりました。以下の課題については、コーポレートガバナンスの充実をはかるために、引き続き審議をしてまいります。

- ・審議の充実と時間

3. 過年度の実効性評価の結果を踏まえた改善状況

過去の改善状況については、2024年3月実施の取締役会実効性評価結果をご参照下さい。

<https://www.aeria.jp/pdf/FETnaFeq4>

2025年3月実施	グループコンプライアンスの充実	アエリアグループのビジネス(コンテンツ・アセットマネジメント・ITサービス)の中で、不動産会社のビジネスリスクが高いため、当該リスクの高い会社に対して、アエリアのコンプライアンス責任者が常駐し運用面の強化をはかりました。
2025年3月実施	内部監査の充実	各社の問題点を見つける体制を補完する目的で、以下の内部監査を充実させました。 (1) 金額的に一番大きい会社に対して内部監査を実施しました。アエリアグループに入った当初は内部統制がないに等しい状況でありましたが、会社の方で成長にあわせて内部統制を構築し、ワークフローと会計システムの連動により、内部統制の見える化が実現できている事を確認しました。 (2) 不動産会社の中でビジネスリスクが高い会社に対して、不動産リスクを洗い出しました。洗い出したリスクを中心にモニタリングをしています。

課題については引き続き審議をし、取締役会全体の実効性を更に高めていくために継続的な取り組みを行ってまいります。

以上